

令和8年度健康推進プランよこすか専門部会
議事録

開催日時 令和8年8月18日（火） 15時00分～16時20分

会 場 ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室

出席者

委 員 磯崎 順子、井上 宜生、小幡 純、笥 修一、高橋 秀治、
土田 匡明、林 但 （敬称略、五十音順）

事務局 竹内 和美 ：健康部健康増進課長
丹野 泰角 ：健康部健康増進課主査
橘 小由里 ：健康部健康増進課主査
田杭 真澄 ：健康部健康増進課主査
竹内 玉緒 ：健康部健康増進課主任
上田 里奈 ：健康部健康増進課担当者
松原 大輔 ：健康部健康増進課主任
望月 朋美 ：健康部健康増進課主任

庁内ワーキングメンバー（臨時出席）

板戸 真里 ：健康部健康管理支援課主査

一般傍聴人 0名

欠 席 者 1名 委員：田中 和美

1 開 会 事務局（健康部健康増進課長）が司会となり開会した。

2 配布資料の確認

3 部会員の出欠について

4 本部会の流れについて事務局から説明

これより先は、部会長による議事進行で行われた。

5 議 事

議事（1）「健康推進プランよこすか」について

・事務局より、「健康推進プランよこすか」の策定経緯と専門部会の位置づけおよび任期について説明した。

議事（2）「健康推進プランよこすか事業計画一覧」について

●事務局より、資料1により、健康推進プランよこすか事業計画一覧「①栄養・食生活」から「⑤喫煙・慢性閉塞性肺疾患（COPD）」について説明した。

なお、評価基準は、目標の達成率 90%以上が「A」、70%以上が「B」、60%以上が「C」、それ以下が「D」となっている。

●部会長より、意見・質問等を求めた。

部会員意見等

- ・評価欄が空欄となっているものがあるのはなぜか。
- ・資料1「①栄養・食生活」のNo.3「骨密度検診受診者数」は、評価がAであるにも関わらず、目標設定に生かされていない。令和7年度実績を上回る数値を設定する必要があるのではないか。
- ・「③休養・睡眠」のNo.12「自殺対策キャンペーンの実施回数」について、自身も同キャンペーンに参加している。その際、相談機関を周知するカード等を配布しているが、その先の評価として、例えば「横須賀こころの電話」への相談件数や、支援につながった件数を把握しているか。チラシの配布数のみを評価指標としてよいのか。

事務局回答

- ・評価欄が空欄のものは、実績値が確定していないものである。
- ・「骨密度検診受診者数」の目標値は、令和8年度の予算編成時に設定した。しかし、令和7年度の年度末に実績値が伸び、目標値を上回った。実績値が確定する前に設定した目標値であるため、低くなっている。
- ・自殺対策キャンペーンの実施回数の計上だけでなく、効果に関する評価についても、貴重な意見として担当課に伝えていきたい。実績値と目標値との関係については、令和7年度の実績が137機関である一方、令和8年度の目標値は125機関となっており、目標値の方が低い。これは、実施の質を担保しながら取組数を計上するという観点から目標値を設定しているためである。

部会長意見等

- ・「①栄養・食生活」に関連して、健康推進プランよこすか30ページのコラムについて伺いたい。小学5年生の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率のデータでは、中核市の中でも横須賀市は肥満・痩身の割合が高い。事業評価はAが多いが、今後どのように取り組んでいくのか。
- ・「フレイルサポーター養成数」は目標値に届いていないようだが、実際の活動状況はこの人数でよいのか。

部会長意見等

- ・「④飲酒」や「⑤喫煙・COPD」に関連し、「妊娠期からの各種教室の実施回数」について、これは父親の参加は可能か。

事務局回答

- ・若い女性のやせについては、プレコンセプションケアの一環として、昨年の専門部会で紹介した新・デレラ大作戦のショート動画等、若い女性のやせが健康リスクとなることについて普及啓発し

ている。小学生にも健康教育を実施するなど、対策に取り組んでいる。

- ・フレイルサポーターは、毎年目標人数を設定して養成し、握力測定等の測定や講話の補助を依頼している。フレイルサポーターを希望する市民には、何らかの形で貢献したいという思いがある。介護予防サポーターは、養成講座の受講後、地域のサロン等で介護予防の取組を実施することができる。

いずれも、養成人数の目標は 100 人であるが、活動可能な者は、これまでに養成講座を受講した人を含めると 1000 人を超える。一方、実際に活動する人は限られているため、引き続き毎年養成講座を実施し、実質的な充足を目指していきたい。

- ・プレママ・プレパパ教室は、父親も参加も可能であり、喫煙防止等についても説明している。また、ひとり親の母親の場合は、祖母等の家族と参加するなど、家族単位で対応している。

部会員意見等

- ・「②身体活動・運動」の No. 34「地域リハビリテーション派遣」に関する評価が C であるが、実績が伸びない理由は何か。現状を踏まえ、増加に向けた取組の方針を伺いたい。

事務局回答

- ・少ない団体でしか活用されていない現状があるが、これは地域包括支援センターにおいて、リハビリテーション専門職を活用するイメージがないことが課題であると考えている。活用に関するチラシを作成し、説明を加えたところ、派遣要請が増えている。

●事務局より、資料 1 により、健康推進プランよこすか事業計画一覧「⑥歯・口腔の健康」から「⑩ 心身の生活機能の維持・向上」について説明した。

●部会長より、意見・質問等を求めた。

部会員意見等

- ・「⑥歯・口腔の健康」の No. 2「歯周病検診受診率」と No. 3「妊婦歯科健診受診率」について、20 歳の歯科健診は、歯科医師会が独自に実施していたものから市の事業として実施する形に移行したが、受診率に大きな変化はないと思う。No. 1「フッ化物洗口講習会参加園数」については、私立園では園医によって対応が異なるため、歯科医師会で把握することが難しく、十分な周知できていない。歯科医師会の会員には、実施率の向上を目標として周知している。歯科医師会としても、引き続き実施取り組んでいく。

事務局回答

- ・ありがとうございます。今後とも連携をお願いしたい。

部会員意見等

- ・「⑧循環器病・糖尿病」の No. 13「特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率」について、月次の抽出

	から年次の抽出に変更した理由は何か。これにより実績値が減っているが、どのように評価しているか。
事務局回答	対象者の抽出は健診受診から3か月後以降に反映される、データ抽出時点で既に健診結果や主治医からの指示により受診している可能性がある。また、毎月抽出を行う場合、抽出から通知までの作業にマンパワーを要することから、より丁寧な勧奨の実施に注力するため、健診未受診者が確定したタイミングで年次抽出としている。抽出した対象者は、手紙等による勧奨では受診行動につながりにくい層であるため、電話や訪問を実施するなど、踏み込んだ勧奨を行っている。
部会員意見等	健診受診後、勧奨開始までの期間は最大でどの程度空くのか。健診結果が届いて間もなく、関心がある時期に受診行動に移しやすいタイミングで実施したほうが良いのではないか。医師から説明を受けても受診しない市民への勧奨も重要だと思うが、受診した市民についても、医師から説明を行い、治療継続を促すことで、重症化予防につながる可能性があるため、勧奨にも意義がある事業だと考える。
事務局回答	最大1年ほど空く。貴重な意見として、今後検討していきたい。
部会員意見等	「特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率」等については、対象者に疾患がないことを前提として目標値を設定しているのか。それとも、既に治療中又は受診中の者も含まれているのか。このような条件を考慮すると、目標値の設定は難しいと感じた。
事務局回答	国保データベースシステム（KDB）を活用し、健診受診者のうち、対象となる検査項目の検査値が基準値を超えているにも関わらず、該当する疾患での受診が確認できない市民を対象者としている。
部会員意見等	例えば、血圧で既に受診している者がコレステロールの検査値により受診勧奨の対象となった場合、受診勧奨を行っても受診につながらないことが考えられる。このような者は、受診率の算定対象に含まれていないということか。
事務局回答	血圧で既に受診しているが、コレステロールでは受診していない者に対しても、コレステロールに関する受診勧奨通知を送付している。このような場合、医療機関からは、コレステロール値が高いことも把握しており、既に受診しているため通知は不要であるとの意見を受けることもある。既に受診している者への対応につ

- いては議論があったが、検査値が基準値を超えていることを本人に認識してもらう必要があると考え、受診勧奨を行っている。
- 部会員意見等 ・目標達成が難しい事業だと思う。
- 事務局より、資料1により、健康推進プランよこすか事業計画一覧「⑪ 社会とのつながりの維持・向上」から「⑫ 高齢者」について説明した。
- 部会長より、意見・質問等を求めた。
- 部会員意見等 ・地域で実施しているラジオ体操を見て回っているが、子どもから大人まで多くの人に参加している状況があった。地域で活動する団体も増えている印象があり、地域全体が活気づいていると感じる。コミュニケーションをとっている様子も見られる。
- また、地域の中で、高齢者の地域民生委員、社会福祉協議会等と連携しながら健康教育を実施している様子がある。町内会で開催する教室は、地域包括支援センターの職員も参加し、最後にはゲーム大会を実施している。健康に関するワンポイントの説明もあるなど、地域の面白い活動が増え、取組が進んでいると感じている。
- 部会員意見等 ・創業する人が増えているが、リハビリテーションや鍼灸等が多い。健康に対する関心が高まっていると感じている。
- 行政は、健康施策を数多く実施しているが、十分に情報が届いていない印象がある。企業をターゲットと捉え、そこで働く経営者等も含めた市内事業者にアプローチする事業があってもよいと思う。
- 部会員意見等 ・月に1回、認知症カフェを開いている。認知症へのネガティブなイメージもあるため、名称を変更することも考えているが、みんなで歌や落語をやると高齢者が集まってくる。孤立を防ぎたいという思いで活動している。一方で、民生委員の担い手がいらないなどの課題も感じている。
- 部会員意見等 ・シルバー人材センターには仕事を探しに来る人が多く、健康志向も高い。また、集える場を設け、ダンスや小物づくりなどの企画を実施している。その他にも男性を対象とした料理教室を実施していたが、軌道に乗りかけたところでコロナウイルスの影響で中止となった。再開を望む声があるため、「電子レンジで簡単に作れるレシピによる調理実習等」を企画中。会員1300人全員が稼働しているわけではないが、楽しみながら取り組んでいきたい。
- また、市からの情報発信については、プレコンセプションケアの

動画や、2歳半の歯科健診で母親向けに動画による情報発信をしていることから、動画を活用した学習もよいのではないかと感じている。

内臓の疾患であっても、歯の疾患が治らないと手術不可となる場合があると聞いた。全身の健康はつながっていることなど、興味を引く形で周知する必要があるのではないかと感じている。

事務局回答

- ・おっしゃる通りである。横須賀市ホームページには、幼児の歯磨き（仕上げ磨きの方法）動画を掲載している。仕上げ磨きをすると幼児が大泣きすることもあるが、実施方法を示し、父親にも参加を促す内容となっている。1歳6か月児健診や3歳6か月児健診で二次元コードを配布し、周知している。歯科保健は、乳幼児期から高齢期まで切れ目のない教育が大切だと感じている。引き続き周知していく。

部会員意見等

- ・5歳児健診について、今後「健康推進プランよこすか」に掲載する予定はあるか。

事務局回答

- ・令和11年度に中間評価を行うため、そのタイミングで掲載について検討する予定である。

事務局回答

- ・地域でのラジオ体操の活動や、民生委員としてサロンでの関わる機会が増えていること、認知症カフェについてのお話を伺った。当課では「まちなか元気プログラム」として、高齢者3人以上のグループにアカウントを付与し、運動や絵に関する1コマ10分～15分の動画を活用して教室を運営ができる体制を整えている。担い手不足の解消につながる要素もある事業として、開始した。地域での活動において、実施内容に困っていることなどがある場合は、行政としてお手伝いできることがあるかもしれないため、ぜひお声がけいただきたい。

運営全体に対する意見

部会員意見等

- ・配布資料について、ページ番号の付け方や縦横の向きの統一など、見やすさについても今一度検討してほしい。

事務局回答

- ・次回、改善していきたい。

ここより先の進行は、事務局が行った。

6 閉会 事務局（健康部健康増進課長）が司会となり閉会した。

（以上）